

公益社団法人日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習 「乳房撮影」 北関東地域（埼玉県）開催報告

学術委員会理事 城處 洋輔

平成 28 年 7 月 3 日（日）に、日本診療放射線技師会が主催とする基礎技術講習会「乳房撮影」が、さいたま赤十字病院にて開催された。県内外を合わせて 42 人と多数ご参加頂き、乳腺における関心の高さをあらためて感じた。以下に当日のプログラムを記す。休日にもかかわらずご参加いただいた受講生の皆さま、また講師・会場スタッフの皆さまにはこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



プログラム

平成 28 年 7 月 3 日（日）

時間	科目	講師
8:30 ~ 8:50	受付	
8:50 ~ 9:00	開講式・オリエンテーション	
9:00 ~ 10:00	乳がんの臨床	田中 宏 埼玉県病院局
10:00 ~ 10:15	休憩	
10:15 ~ 11:15	マンモグラフィの基礎と品質管理	土田 拓治 済生会川口総合病院
11:15 ~ 12:00	デジタルマンモグラフィ	土田 拓治 済生会川口総合病院
12:00 ~ 13:00	昼休憩	
13:00 ~ 13:45	撮影技術と臨床画像評価基準	新島 正美 埼玉協同病院
13:45 ~ 14:30	乳腺超音波	新島 正美 埼玉協同病院
14:30 ~ 14:45	休憩	
14:45 ~ 15:45	読影とカテゴリー分類	岡田 智子 さいたま赤十字病院
15:45 ~ 16:30	乳腺 MRI	岡田 智子 さいたま赤十字病院
16:30 ~ 16:45	休憩	
16:45 ~ 16:50	確認テスト説明・問題用紙配布	
16:50 ~ 17:20	確認テスト	
17:20 ~ 17:30	確認テスト解答回収など	
17:30 ~ 17:45	修了式（修了証書授与）	

（敬称略）

公益社団法人日本診療放射線技師会「業務拡大に伴う統一講習会」 北関東地域（埼玉県）開催報告

学術委員会理事 城處 洋輔

平成 28 年 9 月 3 日（土）、4 日（日）に、日本診療放射線技師会が主催とする業務拡大に伴う統一講習会が JCHO 埼玉メディカルセンターで開催された。本年度として第 1 回目の開催であり、他県からの参加者も合わせ 25 人が 2 日間にわたり受講した。講義および実習を通じて業務拡大に伴う必要な知識や技能の習得、またはそのきっかけになった事と思われる。受講生の皆さま、また実習を担当された指導者や会場スタッフの皆さまには、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

プログラム

平成 28 年 9 月 3 日（土）

- 9：00～9：50 講義（DVD 放映）静脈注射関係
- 9：50～10：40 講義（DVD 放映）静脈注射関係
- 10：50～11：40 講義（DVD 放映）静脈注射関係
- 11：50～12：40 実習・演習 静脈注射
- 13：30～14：20 講義（DVD 放映）法改正
- 14：20～15：10 講義（DVD 放映）IGRT
- 15：20～16：10 講義（DVD 放映）IGRT
- 16：10～17：00 講義（DVD 放映）IGRT
- 17：20～18：20 実習・演習 BLS



平成 28 年 9 月 4 日（日）

- 9：00～9：50 講義（DVD 放映）下部消化管
- 9：50～10：40 講義（DVD 放映）下部消化管
- 10：50～11：40 講義（DVD 放映）下部消化管
- 11：40～12：30 講義（DVD 放映）下部消化管
- 13：20～14：10 実習・演習 下部消化管
- 14：20～15：10 実習・演習 IGRT
- 15：20～16：10 試験説明および確認試験



実習指導者

大森 正司
石田 直之
八木沢 英樹
佐々木 健

さいたま赤十字病院
埼玉医科大学総合医療センター
JCHO 埼玉メディカルセンター
上尾中央総合病院
上尾中央総合病院
上尾中央総合病院

実習指導補助者

滝口 泰徳

（敬称略）

第8回CT認定講習会 入門編&認定取得者向け講習会開催報告

学術委員会理事 城處 洋輔

平成28年8月29日(月)に、CT認定未取得者を対象とした入門編、CT認定取得者を対象とした取得者向け講習会が、浦和コミュニティセンターで開催された。入門編では、CT装置における撮影条件が画像へ及ぼす影響や、画質の変化を捉えるために必要な評価法についての概要を解説された。次に造影検査を施行する上で必要な基礎知識や、造影剤の注入量、速度、時間による造影効果への影響を表したTECについて分かりやすく解説され、造影効果の再現性を担保するために必要な考え方について学習できた。最後に実際の臨床症例を例に挙げ、読影に必要なとされる解剖や知識などポイントを抑えて解説された。基礎的な内容を中心とした構成であり、本講習をきっかけに研鑽していただければ幸いである。取得者向けは腹部症例を中心として実際にPCを用いた読影や、トピックスとしては逐次近似(応用)画像再構成における評価法や仮想単色X線画像における造影効果などが紹介された。今後も参加者にとって有益な情報を提供していきたい。

以下に当日のプログラムを記す。参加人数は入門編が19人、取得者向けが3人であり、台風が接近し交通機関の乱れが予想されていた中、ご参加いただいた受講生の皆さま、また講師・会場スタッフの皆さまには、この場をお借りしてお礼申し上げます。

プログラム

CT認定講習会 入門編

18:30～18:50	受付		
18:50～18:55	オリエンテーション		
18:55～19:25	撮影条件が画像に与える影響	城處 洋輔	済生会川口総合病院
19:25～19:55	造影理論を理解しよう	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター
20:00～21:00	読影の基礎	富田 博信	済生会川口総合病院

CT認定講習会 認定取得者向け

18:30～18:50	受付		
18:50～18:55	オリエンテーション		
18:55～19:55	読影セミナー(読影演習と解説)	富田 博信	済生会川口総合病院
20:00～20:30	性能評価関連の最近のトピックス	城處 洋輔	済生会川口総合病院
20:30～21:00	造影技術関連の最近のトピックス	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター

(敬称略)

第 47 回埼玉 CT Technology Seminar 開催報告

当番世話人
羽生総合病院 染野 智弘

平成 28 年 8 月 7 日（日）さいたま赤十字病院 5 階講堂で、第 47 回埼玉 CT テクノロジーセミナー学術集会が開催されました。今回のメインテーマは「3D-CT テクノロジーを活用しよう！」という趣旨の下、3D-CT に関する知識・理解・技術向上を図ることを目的として企画させていただきました。当初の目標であった 200 人を上回る、合計 201 人が学術集会にご参加くださいましたこと厚くお礼申し上げます。遠方よりお越しになられました、石風呂先生、平野先生、ご講演後すぐにご帰宅されるとのことで、前日はありましたが懇親会を設けることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

SCTT 富田代表より、明日が本番だからほどほどに。。。3 次会まで。。。との指令があり。。。

さて、いよいよ当日を迎えまして、セッションⅠ『実践 3D-CT の現状』では石風呂先生より、画像等手術支援における 3D-CT の必要性、また診療放射線技師の地位の確立や方向性などをご講演していただきました。セッションⅡ『実演：3D-CT 作成』では、ワークステーション実機を用いての 3D 画像作成をしていただき、各メーカーの特徴などがよく分かったと思います。ランチセミナーでは、東京 CT Technology Seminar 木暮代表により『東芝メディカルシステムズ FFR-CT の現状と可能性』についてご講演していただき、セッションⅢ『3D-CT 応用編：ワンランクアップする撮影技術と Image Processing』では、講演後、活発な議論がなされ会場一同の真剣さが伝わってきました。特別講演Ⅰ『イメージラボの運用と最新臨床画像へのアプローチ』では、井野先生より、イメージラボの臨床部門を設置し、手術中における 3 次元画像解析処理の有用性をご講演していただきました。特別講演Ⅱ『臨床で認められる 3D 画像作成のための当院の試みと脳神経 3D』では、平野先生より、3D-CT と 3D-Neuro Imaging との Fusion3D 画像処理についてご講演していただき、完成度の高い術中支援ナビゲータに大変な衝撃を受けました。今回の学術集会を振り返りまして、講師の先生方、演者、座長の皆さまのお陰により素晴らしい学術集会になりましたことを大変感謝申し上げます。また臨床における 3D-CT の有用性を再認識することができ、各施設において臨床で求められる 3D-CT 画像作成に対して一考するきっかけとなり得たことでしょう。また今回の学術集会が無事に盛会に終えることができましたのは、参加してくださった皆さま、世話人実行委員の皆さま、企業の皆さまのおかげであり、深謝致します。

第47回 埼玉 CT Technology Seminar 学術集会のご案内

メインテーマ
「3D-CTテクノロジーを活用しよう!!」

平成28年8月7日(日)
さいたま赤十字病院 5階 講堂

会場 1,000円
※会場内での飲食・お土産等は別途ご用意ください。

代表世話人: 浅生川口総合病院
協賛: さいたま国際医療センター
実行委員会: 浅生川口総合病院 富田 博隆
今出 茂樹
協賛後援: 09-09-000
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200

協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200

協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200

協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200

協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200

協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200
協賛後援: 09-09-200

埼玉CT Technology Seminar 世話人、実行委員、事務局

世話人: 浅生川口総合病院 富田 博隆
世話人: さいたま赤十字病院 今出 茂樹
世話人: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
世話人: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
世話人: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
世話人: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
世話人: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
世話人: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
世話人: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
世話人: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二

実行委員: 浅生川口総合病院 富田 博隆
実行委員: さいたま赤十字病院 今出 茂樹
実行委員: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
実行委員: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
実行委員: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
実行委員: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
実行委員: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
実行委員: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
実行委員: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
実行委員: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二

事務局: 浅生川口総合病院 富田 博隆
事務局: さいたま赤十字病院 今出 茂樹
事務局: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
事務局: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
事務局: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
事務局: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
事務局: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
事務局: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
事務局: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二
事務局: 埼玉医科大学総合医療センター 野村 浩二

会場アクセス
さいたま赤十字病院
大宮(埼玉駅) 距離約1.3km、徒歩約13分
北本郷 距離約2.0km、徒歩約14分
さいたま新都心 距離約1.3km、徒歩約16分



石風呂 実 氏



木暮 陽介 氏



井野 賢司 氏



平野 透 氏



代表世話人 富田 博信 氏



当番世話人 染野 智弘 氏



会場風景



世話人・実行委員